

恵庭市と漁川ダム(盤尻)を管理する札幌開発建設部は12月4日、地元の特産加工品などを保管する初の長期熟成実証実験を漁川右岸グラウトトンネル内(同)で開始しました。この取り組みは漁川ダムと地域名産品のPR・ブランド化など、地域活性化の推進を図ることが目的。実験期間は2029年3月までです。

漁川ダム右岸グラウトトンネル 長期熟成加工品など保管実証実験開始



地域資源を生かした商品開発を目指す「恵庭市農工商等連携推進ネットワーク」に加入している4事業者が実験に参加。日本酒やキウール、ハチミツ、ブドウ苗木、タマネギ、ジャガイモの6品種が搬入されました。保管場所のトンネルは、ダム建設前に周辺の地質調査のため作られた。長さ200m、年間を通じて気温が約8〜9℃、湿度は90〜100%になります。搬入された物は入り口から約30mの場所

千歳市が、地域公共交通の確保・維持に向けた自動運転バスの実証実験が10月30日から11月27日まで、千歳駅前から千歳相互観光バス本社ターミナル(里美2)までの約9km区間で実施されました。実験は期間中の平日に実施され、緊急時には運転手が手動でハンドルやアクセル、ブレーキなどを操作する「レベル2」状態で検証を行いました。

全国的に少子高齢化や人口減少が進む中、公共交通機関でも運転手の高齢化や人材不足などの課題が深刻化してきています。そのため、市では自動運転バスの導入により必要とする人数の抑制と、持続可能な地域公共交通の路線確保を目指し、今年度から「千歳市自動運転実証調査業務」を実施しています。

千歳市内で自動運転バスの実証実験 市民試乗会で乗り心地など広く紹介



市民向けの無料体験試乗は11月18日〜27日に実施。往復各4便ずつ運行し、朝日町7丁目、市では自動運転バスの導入により必要とする人数の抑制と、持続可能な地域公共交通の路線確保を目指し、今年度から「千歳市自動運転実証調査業務」を実施しています。

最終日の27日に乗車した白石喜啓さん(60歳)は「センサーが隣車線の車両の動きに反応した際のブレーキの強弱など、前後のゆれが若干気になりました」と課題点に触れた後「運転手不足や路線の存続など、市民生活に欠かせない足を守るための取り組みで、技術の進歩に懸ける期待は大きいと思います」と今後の推移に期待を寄せていました。市交通政策課交通政策係では、データ解析やアンケート回答をもとに今後も実証実験を進めていく方針です。

島田農園と市内で酒類を販売するショップ酒蔵、笹松屋の3者は、はちみつ72個と同農園産の酒米を使用した地酒「絆の花」144本を保存。約半年に1度、味や熟成度などを確認する予定です。同農園の島田龍哉代表取締役は「寝かせることで角が取れ、まろやかになってほしい」と期待を込めました。



イン用ブドウ「メイヴ」の苗木200本を搬入。苗木は凍結や乾燥に弱く、10度以下の温度で芽吹いてしまうため保管にコストがかかっています。同農園の家島直希代表取締役は「自然を活用した保管に期待しています」と話していました。

注 ちゃんどクーポン……7ページ
年末年始必見特集……23ページ

12/28 まで おたからや ちとせモール店限定

査定された方全員に お菓子プレゼント!
買取金額10,000円以上の方に アークス商品券 1,000円分プレゼント!

残り僅か! 年内最後の大型企画!

来年が皆様にとって笑顔と幸せがあふれる素晴らしい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます

店長 田中

千歳市勇舞8-1-1 ちとせモール内1階 ☎0120-111-253

地図はこちら
北海道公安委員会 古物免許番号 第101040002318号 R6-6J 053

2024年 私たち日建企画はリノベーション事業に注力してきました
そこで新たに培ったさまざまなノウハウを
来たる2025年にも リノベーションはもちろん新築においても活かし
皆様のご要望にお応えできるよう一層尽力してまいります
お客様からのお問合せを心よりお待ちしております

代表取締役 伊藤 博

NIKKEN KIKAKU 千歳市信濃2丁目13-3 TEL 0123-27-2707 www.nikken-kikaku.com
建設業許可/北海道知事(般-2)第11638号 一級建築士事務所/北海道知事登録(石)第2861号 宅地建物取引業/北海道知事許可 石狩(7)第6048号